

宮前小図書館だより

令和8年6月 課題図書案内号 低学年版 宮前小学校

毎年夏休みに行われている「全国読書感想文コンクール」の課題図書が図書館に入りました。まだ貸出はできませんが、図書館に展示してありますのでぜひ見てください。

『まこちゃんとゴトバロ栗』

村上しいこ作／たんじあきこ絵 913/△

まこちゃんは、おばあちゃんがまこちゃんにくれる勉強の本にうんざりしていた。そんな中、おばあちゃんがまこちゃんにプレゼントをくれた。それは「ゴトバロ栗」。でも、「ゴトバロ栗」は、まこちゃんに、勉強のヒントではなく、啓えを教えるしまう。先生やママに、ばれたら、どうしよう…。まこちゃんのところがちくっとするが…。

『なにかいいことあった？』

ミーシャ・アーチャー作／右津ちひろ訳

E/A

「なにかいいことあった？」と、おじいちゃんからたずねられた夕ニエル。夕ニエルは公園をめぐって探して行く中、夕ニエルは「くちぶえがふけるようになったこと」「あたらしい歯がはえたこと」などど気づきます。おじいちゃんとのやさしい時間が流れていきます。

かだいとしょしょうかい 課題図書紹介

『うらのまほうのことば』

グレイシー・ジャン作／やのあやこ訳 E/シ

とても暑い夏、おてんばのうらは、空き地や、庭の草やはっぱに水をあげ、やさしいことばをかけていました。「こんにちは、みどりのおともだち」、「しましまでかわいいね」夢中になって外で過ごすうちに、どろんこになり、おかあさんにおこられてしまいます。そんな中、うらのだいすきなみどりのおともだちは、みるみる大きくなりました。大きくなったおともだちは…？

『たねはいのちのおわりとはじまり』

鈴木 純著

E/ス

すべてのいのちは、種から始まる。ちいさなちいさな種が、とても大きくなる。枯れてしまっても、また種ができ、その種から芽が出て、新しいいのちが生まれている。

いのちがたえることなく、つながっている、と感じられる、きれいな写真付きの絵本。

※貸出は7月からです。詳しい日にちはまたお知らせします。
ひとり1冊貸出できます。図書の時間など、授業中は貸出できません。

ちゅうもく

注目



宮前小図書館だより

令和8年6月 課題図書案内号 中学年版 宮前小学校

毎年夏休みに行われている「全国読書感想文コンクール」の課題図書が図書館に入りました。まだ貸出はできませんが、図書館に展示してありますのでぜひ見てみてください。

『まだまだここから』

宇佐美牧子作／酒井 以絵 913/ウ

蓮は小学4年生。水泳だけはちょっと得意な男の子。そんな蓮におとすれた、スイミングスクールの特訓生になれるチャンス。でも受かったのはがんばっていた蓮ではなく、弟の謙で…。がんばっていたことが美らなかったとき、すべては「むだ」になってしまうのかな？かけがえのない仲間との出会いが蓮を成長させていく物語。

『それからぼくはひとりで歩く』

アリシヤ・モリー子作／星野由美訳 963/モ

視覚に障害をもつ11歳の男の子ハイメと、家族・友達との物語。ハイメは、耳がとてもよく、物音で状況を判断する。そんなハイメの日常の中に冒険が。初めてバスにひとりで乗って帰ることになったのだ。様々な人との出会いを通して、ハイメが勇気をもって立ち向かうちょっと不思議な物語です。

かだいとしょしょうかい 課題図書紹介

『おいしいお米をつくりたい！ゆうちゃん、小学生で農家に弟子入りしました』

谷本雄治著 616/タ

小学生で農家に弟子入りし、米作りを始めたゆうちゃん。無農薬／天日干しというこだわりをもって、心を込めて育てていく。しかし、台風で、一気にイネは倒れてしまう。農家の大人たちは、台風という困難にあっても、イネの力を信じて、成長を見守っていた…。ゆうちゃんも、米作りを根気強く続けていく中で、たくましくなり、たくさんのことを学んでいく、ゆうちゃんの成長の記録。

『学習でうんち みんなの知らない学習トイレのひみつ』

A.ボンドー・ストーン作／ E/ス

最初学習へ行ったら、アラシ・シエパードは、学習への滞在予定時間が15分だったため、トイレがなくても大丈夫だと思っていた。しかし、学習では、量力がなくなる為、トイレの問題はただごとではない。意外と知らない学習トイレの秘密にせまるユニークな絵本。

※貸出しは7月からです。詳しい日にはまたお知らせします。
ひとり1冊貸出できます。図書の日など、授業中は貸出できません。

ちゅうもく



宮前小図書館だより

令和8年6月 課題図書案内号 高学年版 宮前小学校

毎年夏休みに行われている「全国読書感想文コンクール」の課題図書が図書館に入りました。まだ貸出はできませんが、図書館に展示してありますのでぜひ見てください。

『ボジション!』

高田由紀子作

913/夕

スポーツは苦手なのに、「背が高い」という理由だけで、ミニバスケットチームに誘われた、小学5年生の芽吹。友達ができるかもしれないと、入団を決意するが、運動が得意ではないので、チームに迷惑をかけてはいけないので、一生懸命自主練を頑張る。友達の中での、自分の居場所を探し、みんなで成長していく物語。

『リビト!』

イノウエミホ子作

913/イ

「理人、最後に伝えておきます」祖母の節さんが、僕に託した中身のわからない封筒。節さんが伝えたかったこととは？節さんはどんな人？疑問を抱えながら、僕は「苦手なあいつ」とドイツへ向かうことに。

光あふれる異国のクリスマスマーケットで、僕が得たものとは…。

かだいとしょしょうかい 課題図書紹介

『ミシユカ』

エドワード・ラッパント・テ・フェンデル／

アヌッシュ・エルマン作

949/フ

難民になった家族が、新しい国でようやく見つけた幸せについて描かれている。9歳の少女ロヤが、ウサギのミシユカと楽しく過ごす毎日を描きながら、長くて大変だった難民の旅や、新しい国で受けるさまざまな差別といったつらいことも伝える。

『キミの一番アフリカ ソウを食べるにはひとくずつ』 味田村太郎文

367/ミ

南アフリカに赴任したNHK記者が、アフリカの砂漠化による、食糧不足や貧困などの厳しい現状を目の当たりにする。しかし、その中で、チエス、ボウシング、折り紙など、楽しみを見つけ、希望をもって、力強く生きていく子どもたちの現実を描く。読んでみると、新しい一歩を踏み出す、何かきっかけになるかもしれません。

※貸出は7月からです。詳しい日にちはまたお知らせします。
1人1冊貸出できます。図書の時間など、授業中は貸出できません。



だい かいせいしょうねんどくしょ かんそう ばんぜんこく こんくうる
第 72 回 青少年 読書感想文 全国コンクール

か だ い と し ょ
課題図書

<p>小学校低学年の部(1～2年)</p>	<p>『まこちゃんとゴトバロホ』 村上しいこ 作/たんじあきこ 絵 (913/ム)</p> <p>『なにかいいことあった?』 ミーシャ・アーチャー 作/石津ちひろ 訳 (E/ア)</p> <p>『ララのまほうのことば』 グレイシー・ジャン 作/やのあやこ 訳 (E/シ)</p> <p>『たねはいのちのおわりとはじまり』 鈴木 純 著 (E/ス)</p>
<p>小学校中学年の部(3～4年)</p>	<p>『まだまだここから』 宇佐美牧子 作/酒井 以 絵 (913/ウ)</p> <p>『それからぼくはひとりで歩く』 アリシア・モリーナ 作/星野由美 訳 (963/モ)</p> <p>『おいしいお米をつくりたい! ゆうちゃん、小学生で農家に弟子入りしました』 谷本雄治 著 (616/タ)</p> <p>『宇宙でウンチ みんなの知らない宇宙トイレのひみつ』 A. ボンドー・ストーン/C. ホワイト 作(E/ス)</p>
<p>小学校高学年の部(5～6年)</p>	<p>『ポジション!』 高田由紀子 作 (913/タ)</p> <p>『リヒト!』 イノウエミホコ 作 (913/イ)</p> <p>『ミシュカ』 エドワルド・ファン・デ・フェンデル/アヌツシュ・エルマン 作(949/フ)</p> <p>『キミの一步アフリカ ソウを食べるにはひと口ずつ』 味田村太郎 文 (367/ミ)</p>